土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	砂防指定地内河川　恵木谷川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県三次市畠敷町	北緯	34° 48' 52.8993"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和3年10月11日～ 令和3年10月14日	東経	132° 53' 20.8956"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 245.64m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	9.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO / エンジン：ヤンマーNFD90-型 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	244.64	1.00		砂混りシルト		暗黒灰～暗褐		rc2	シルト主体で細砂が混在。表層には植物根を多く含む。GL-0.3～0.5mは腐植土を多く含む。含水量は少ない。	
2～6	239.64	6.00		強風化流紋岩		褐～暗褐			強風化を受けた流紋岩。シルト質砂状コアとして採取。コアは指圧によって容易に崩れる。全体的に岩組織は残すが、GL-4.4～4.5m、5.4～5.5mでは細粒分状を呈し、岩組織も不明瞭となる。GL-2.7m付近では掘削中に全漏水が確認された。岩級区分はDM～DH	10/14 4.00
6～8	237.54	8.10		風化流紋岩		褐～灰褐			風化流紋岩に該当。岩片状コア～短柱状コアとして採取。上位層と比較して、硬質で節理も明瞭になっており岩組織を残す。GL-7.00～7.80m間はややコアが悪く砂礫状を呈する。岩級区分はDH～CL級。	10/15 7.40
9～14	236.64	9.00		流紋岩		褐～灰褐			短柱状コアとして採取。上位層と比較して硬質で、コア肌もなめらか。節理は褐色化を示す。岩級区分はCL級。	

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
13	1.15	2	3	8	13/300		
	1.45						
43	2.15	14	14	15	43/300		
	2.45						
26	3.15	6	10	10	26/300		
	3.45						
31	4.15	8	11	12	31/300		
	4.45						
36	5.15	9	10	17	36/300		
	5.45						
50以上	6.00	32	18		50/120	120	
	6.12		20		50/120		
50以上	7.00	15	35		50/150	150	
	7.15		50		50/150		
50以上	8.00	50			50/90	90	
	8.09	90			50/90		
50以上	9.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				10/12
				10/13
				10/14